

01 一般会計の決算額

前年度に比べて約3億5,582万円の増額

平成21年度決算が、9月定例議会で認定されました。下表のとおり、歳入・歳出の差引残額は、2億1,834万円となりました。歳出総額は、前年度に比べて3億5,582万円の増額となり、増額となった主な理由は、子どもたちが安心して学べる環境作りのため、桂川小学校校舎の耐震補強工事への支出などが挙げられます。今後の財政運営については、無駄な歳出については徹底的に省く行財政改革を行いつつ、より財政の安定化を推進していく必要があります。

平成21年度 一般会計の決算額 (万円未満は四捨五入)

歳入 54億1,377万円

町民1人当たり37万7,687円
(前年度：34万6,287円、3万1,400円増)

歳出 51億9,543万円

町民1人当たり36万2,455円
(前年度：33万5,664円、2万6,791円増)

差引残額 2億1,834万円

※平成22年3月31日現在の人口1万4,334人で算定

『決算』は、1年間に税金などの収入がいくら入り、それがどのように使われたかをまとめた『町の家計簿』です。

この『町の家計簿』について、平成21年度に町が使ったお金(歳出)と皆さんが納められた税金や国・県からの補助金、交付金など(歳入)から見える、町財政の現状及び課題、運営の評価を見てみることにしましょう。

平成21年度決算報告

『町の家計簿』チエツク!!

02 一般会計歳入

自主財源は約33%、依存財源が約67%

前年度の一般会計の歳入は54億1,377万円でした。その内訳は、国や県等に頼った依存財源が約66.9%、町税などの自主財源が約33.1%となっています。しかし自主財源には全体の約4.0%にあたる基金の取り崩し(2億1,814万円)や全体の約2.8%にあたる前年度からの繰越金(1億5,316万円)が含まれているので、実際の町税などの収入は、約26.3%という状況です。依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税で、19億5,037万円、歳入全体の約36.0%を占めています。

